いじめを速やかに解消した事例２（中学校第２学年女子）
～組織的な対応～

問題の把握
- １１月に実施した当該生徒のアンケートに「同学年の女子生徒数名から悪口を言われる」との記述があった。
- 同じクラスの他の生徒のアンケートに「友人が学校でいじめられているのを見たり、聞いたりしたことがある」との記述があった。
- 学級担任は当該生徒と面談し、１１月２１日、いじめを認知した。

対応状況

○　学級担任の事実確認
- アンケート実施前に、いじめの徴候はなかった。
- １１月のアンケート後、当該生徒と面談し、いじめを認知した。
- 具体的な事象としては、当該生徒は、同じクラスの加害生徒４名から悪口を言われていた。

○　即時的に実施した対応の経緯

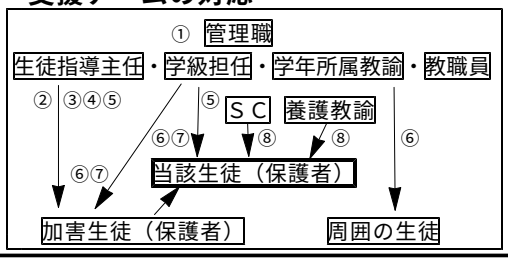
11月20日	・アンケート実施 ・アンケート結果を集計し、いじめの可能性を発見し、当該学年で対応を協議
11月21日	・学級担任が当該生徒と面談し、いじめの内容について聴取 ・当該学年教諭及び生徒指導部で対応と指導の方針を策定 ・生徒指導主任及び学年主任、学級担任は、管理職に報告し、管理職は今後の対応や指導の方針について指示 ・支援チーム（体制）の編成 ・学級担任と学年主任が家庭訪問 当該生徒からの聞き取り内容と今後の対応を保護者に連絡
11月22日	・職員朝会を行い、事実及び今後の対応を全職員に周知 ・関係生徒に事情聴取を実施 ・当該生徒、加害生徒及び保護者への説明、指導を実施（⑥、⑦） ・養護教諭による当該生徒への面談（⑧）
11月26日	・スクールカウンセラーの面談１（⑧） ・学年集会で学年主任がいじめは絶対に許されないこと等、周囲の生徒への指導を実施（⑥）
11月28日	・スクールカウンセラーの面談２（⑧）
11月30日	〃　　３（⑧）
12月　4日	・学級担任との面談によりいじめの解消を確認

組織的な対応

○　支援チームの編成

メンバー	内　　容
・管理職	①対応方針の決定 策定の方針を精査
・生徒指導主任	②事実の把握（情報収集） 聴取内容を集約 ③対応方針の策定 メンバー及び教職員の役割と内容、タイムスケジュール作成 ④教職員への周知 役割と内容の周知
・学級担任 学年所属教諭	⑤スクールカウンセラーとの連携 状況及び対応方針を連絡し、対応を依頼 ⑥生徒への指導（当該生徒、加害生徒、周囲の生徒） ⑦保護者対応（当該生徒及び加害生徒の保護者）
・養護教諭 ＳＣ	⑧当該生徒へのカウンセリング

○　支援チームの対応



○　未然防止の取組
- ○　定期的なアンケートと教育相談の実施
- ○　予防的・開発的な教育相談の実施
- ○　支持的風土を醸成する生徒会の取組
- ○　いじめの問題に関する校内研修の実施

いじめの問題を速やかに解消するためのポイント
- 事実を把握した時点から重点的に対応する支援チーム等を編成し、組織的かつ速やかに対応すること。
- スクールカウンセラーによる面談等を行い、当該生徒の心のケアに努めること。
- いじめの問題の未然防止の観点から、予防的・開発的な教育相談を充実させるとともに、いじめの問題に関する研修を実施すること。